

# 令和4年度 佐久市の財務書類(一般会計等)

《一般会計等(4会計)》 ・一般会計 ・障害者支援施設臼田学園特別会計 ・住宅新築資金等貸付事業特別会計 ・奨学資金特別会計

※佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計については令和3年度末をもって廃止されておりますが、一般会計への移管処理等の都合により上記表に含まれております。

## 1 貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)		貸方(資産の調達財源)	
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)		【負債の部】(将来の世代が負担する金額)	
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎など)	1,722億29百万円	1 固定負債 (地方債や退職手当引当金など)	456億78百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェアなど)	1億80百万円	2 流動負債 (1年内償還予定地方債、賞与等引当金など)	57億6百万円
3 投資その他の資産 (基金、貸付金、出資金など)	333億74百万円	負債合計	513億83百万円
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、未収金など)	143億61百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)	
うち、現金預金	14億69百万円	純資産合計	1,687億61百万円
資産合計	2,201億44百万円	負債・純資産合計	2,201億44百万円

## 4 資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

期首現金預金残高	33億9百万円
当期資金増減額	△18億44百万円
1 業務活動収支 (税収等収入、物件費支出など)	86億12百万円
2 投資活動収支 (公共施設等整備費支出、国県等補助金収入など)	△99億33百万円
3 財務活動収支 (地方債等発行収入、地方債償還支出など)	△5億23百万円
(歳計外現金増減額)	4百万円
期末現金預金残高	14億69百万円

## 2 行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常費用】 A	417億43百万円
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入額等)	75億30百万円
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等)	151億68百万円
3 その他のコスト (支払利息、徴収不能引当金繰入額等)	4億73百万円
4 移転支的的なコスト (社会保障給付、補助金、繰出金等)	185億72百万円
【経常収益】 B	27億24百万円
1 使用料・手数料	4億50百万円
2 その他	22億74百万円
【純経常行政コスト】 C=(A-B)	390億19百万円
1 臨時損失 D	13億40百万円
2 臨時利益 E	1億21百万円
純行政コストC+(D-E)	402億38百万円

## 3 純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	1,643億49百万円
本年度差額	42億92百万円
純行政コスト	△402億38百万円
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金など)	445億30百万円
その他 (資産評価差額など)	1億20百万円
期末純資産残高	1,687億61百万円

## 財政分析(4表からわかること)

### ①市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況【1 貸借対照表】

(令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口 97,949人に基づき算出)

- 資産 225万円 (対前年度 +5万円)
- 負債 52万円 (対前年度 △1万円)
- 行政サービスの提供 41万円(対前年度 △3万円)※1

※1 減少要因の主たるものは、資産形成とならない災害復旧費の減少であるため、行政サービス自体の金額が減少しているわけではありません。

### ②道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率【1 貸借対照表】

- これまでの世代の負担率 76.7%(前年度:76.0%)[純資産合計÷資産合計]
- 将来の世代の負担率 17.2%(前年度:17.3%)[地方債÷有形固定資産]

### ③行政サービスに要したコストに対する受益者負担比率【2 行政コスト計算書】

- 6.5%(前年度5.7%)[経常収益÷経常費用]

### ④公共施設等の資産老朽化率(有形固定資産減価償却率)

- 60.9% (前年度:61.7%)[減価償却累計額÷(償却資産帳簿価格+減価償却累計額)]

### 【4表の相互関係】

- ア 「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- イ 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ウ 「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

※ 各項目で表示単位未満の数値を四捨五入していることから、表中で合計が一致しない部分があります。

# 令和4年度 佐久市の財務書類(全体)

## 1 貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)		貸方(資産の調達財源)	
<b>【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)</b>		<b>【負債の部】(将来の世代が負担する金額)</b>	
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎など)	2,335億95百万円	1 固定負債 (地方債や退職手当引当金など)	907億69百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェアなど)	2億16百万円	2 流動負債 (1年内償還予定地方債、賞与等引当金など)	92億89百万円
3 投資その他の資産 (基金、貸付金、出資金など)	276億10百万円	<b>負債合計</b>	<b>1,000億58百万円</b>
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、未収金など)	225億74百万円	<b>【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)</b>	
うち、現金預金 <b>ア</b>	80億36百万円	純資産合計 <b>イ</b>	1,839億38百万円
<b>資産合計</b>	<b>2,839億95百万円</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,839億95百万円</b>

## 2 行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

<b>【経常費用】 A</b>	<b>697億27百万円</b>
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入額等)	126億57百万円
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等)	196億68百万円
3 その他のコスト (支払利息、徴収不能引当金繰入額等)	27億81百万円
4 移転支的コスト (社会保障給付、補助金、繰出金等)	346億22百万円
<b>【経常収益】 B</b>	<b>113億7百万円</b>
1 使用料・手数料	82億35百万円
2 その他	30億72百万円
<b>【純経常行政コスト】</b>	
<b>C=(A-B)</b>	<b>584億20百万円</b>
1 臨時損失 D	13億85百万円
2 臨時利益 E	1億22百万円
<b>純行政コストC+(D-E)</b>	<b>596億84百万円</b>

【4表の相互関係】

**ア** 「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致

**イ** 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致

**ウ** 「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

## 3 純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	1,790億30百万円
本年度差額	47億75百万円
純行政コスト <b>ウ</b>	△596億84百万円
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金など)	644億59百万円
その他 (資産評価差額など)	1億33百万円
<b>期末純資産残高</b>	<b>1,839億38百万円</b>

## 4 資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

期首現金預金残高	109億15百万円
当期資金増減額	△28億84百万円
1 業務活動収支 (税収等収入、物件費支出など)	103億3百万円
2 投資活動収支 (公共施設等整備費支出、国県等補助金収入など)	△110億80百万円
3 財務活動収支 (地方債等発行収入、地方債償還支出など)	△21億6百万円
(歳計外現金増減額)	4百万円
<b>期末現金預金残高</b>	<b>80億36百万円</b>

# 令和4年度 佐久市の財務書類(連結)

《連結(29会計・団体)》

・一般会計等(4会計) ・下水道事業特別会計 ・国保浅間総合病院事業特別会計 ・国民健康保険特別会計  
・介護保険特別会計 ・後期高齢者医療特別会計 ・環境エネルギー事業特別会計 ・工業用地取得造成事業特別会計

《以上、全体(11会計)》

・佐久広域連合 ・佐久平環境衛生組合 ・佐久市・軽井沢町清掃施設組合 ・浅麓環境施設組合  
・北佐久郡老人福祉施設組合 ・川西保健衛生施設組合 ・佐久水道企業団 ・浅麓水道企業団 ・南佐久環境衛生組合  
・長野県民交通災害共済組合 ・長野県地方税滞納整理機構 ・長野県市町村自治振興組合 ・長野県後期高齢者医療広域連合  
・佐久市・北佐久郡環境施設組合 ・佐久市土地開発公社 ・(一社)佐久市振興公社 ・佐久ケーブルテレビ(株)  
・(一財)佐久市文化事業団

※佐久市土地開発公社については令和4年12月に解散し、令和5年度に清算手続きを行っておりますが、今回作成の対象となる令和4年度にはまだ存続しているため、上記表に含まれております。

## 1 貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)		貸方(資産の調達財源)	
<b>【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)</b>		<b>【負債の部】(将来の世代が負担する金額)</b>	
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎など)	2,700億27百万円	1 固定負債 (地方債や退職手当引当金など)	1,030億66百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェアなど)	2億38百万円	2 流動負債 (1年内償還予定地方債、賞与等引当金など)	107億3百万円
3 投資その他の資産 (基金、貸付金、出資金など)	299億95百万円	<b>負債合計</b>	<b>1,137億68百万円</b>
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、未収金など)	314億21百万円	<b>【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)</b>	
<b>資産合計</b>	<b>3,316億80百万円</b>	純資産合計 <b>イ</b>	2,179億12百万円
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,316億80百万円</b>

## 2 行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

<b>【経常費用】 A</b>	<b>827億5百万円</b>
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入額等)	144億76百万円
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等)	232億78百万円
3 その他のコスト (支払利息、徴収不能引当金繰入額等)	33億72百万円
4 移転支的コスト (社会保障給付、補助金、繰出金等)	415億80百万円
<b>【経常収益】 B</b>	<b>147億97百万円</b>
1 使用料・手数料	85億11百万円
2 その他	62億86百万円
<b>【純経常行政コスト】</b>	
<b>C=(A-B)</b>	<b>679億8百万円</b>
1 臨時損失 D	14億66百万円
2 臨時利益 E	94百万円
<b>純行政コストC+(D-E)</b>	<b>692億80百万円</b>

## 3 純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	2,129億9百万円
本年度差額	49億99百万円
純行政コスト <b>ウ</b>	△692億80百万円
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金など)	742億79百万円
その他 (資産評価差額など)	4百万円
<b>期末純資産残高</b>	<b>2,179億12百万円</b>

※ 各項目で表示単位未満の数値を四捨五入していることから、表中で合計が一致しない部分があります。

※ 連結資金収支計算書は、総務省規定により作成を省略しております。